Creative Enzymes®

バチルス・サブチリス由来のグリコーゲン分岐酵素、組換え型

Cat. No. NATE-1207

Lot. No. (See product label)

はじめに

明	グリコーゲン分岐酵素は、グルコースの貯形態であるグリコーゲンの合成中に成長するグリコーゲン分子に分岐を追加する酵素です。より具体的には、グリコーゲン合成中に、グルコース1-リン酸分子がウリジン三リン酸（UTP）と反して、活性化されたグルコースの形であるUDP-グルコースになります。UDP-グルコースの活性化されたグルコシルユニットは、その後、グリコーゲンの末端残基のC-4のヒドロキシル基に転送され、α-1,4-グリコシド結合を形成します。この反はグリコーゲン合成酵素によって触媒されます。重要なことに、グリコーゲン合成酵素はα-1,4-グリコシド結合の合成のみを触媒することができます。グリコーゲンは容易に動員可能なグルコースの貯形態であるため、延長されたグリコーゲンポリマーはグリコーゲン分岐酵素によって分岐され、グリコーゲン分解酵素（例えば、グリコーゲンホスホリラーゼ）に迅速な分解のための多数の末端残基を提供します。分岐はまた、グリコーゲンの溶解度を重要に高め、浸透の強度を低下させます。
別名	分岐酵素、アミロ-(1,4→1,6)-トランスグリコシラーゼ; Q-酵素; α-グルカン分岐グリコシルトランスフェラーゼ; アミロース異性化酵素; 酵素的分岐因子; 分岐グリコシルトランスフェラーゼ; 酵素Q; グルコサン・トランスグリコシラーゼ; グリコーゲン分岐酵素; 植物分岐酵素; α-1,4-グルカン:α-1,4-グルカン-6-グリコシルトランスフェラーゼ; デンプン分岐酵素; 1,4-α-D-グルカン:1,4-α-D-グルカン 6-α-D-(1,4-α-D-グルカノ)-トランスフェラーゼ

製品情報

由来	バチルス・サブチリス亜種・サブチリス株168
形態	3.2 M 硫酸アンモニウムで供給されます
EC番号	EC 2.4.1.18
CAS登番号	9001-97-2
分子量	77485.4 Da
純度	> SDS-PAGEによって判断された95%
活性	38.04 U/mg
濃度	39.8 U/ml
単位定義	1単位は、反混合物がpH 7.5の41.7 mMリン酸ナトリウムバッファー中に3.33 mg/mLのデンプンを含み、各時間点で0.24 mLの反混合物を取り出し、660 nmでの測定の直前に1.0 mLの脱イオン水と0.2 mLのヨウ素試と混合するのに必要な酵素の量として定義され、1.0吸光度単位の低下を引き起こすのに必要な酵素の量です。

使用法とパッケージング

調製方法	使用前に酵素沈殿を完全に均一化するために、ボトルを十分に振とうしてください。2 mg/mL BSAを含むpH 7.5の50 mMナトリウムリン酸緩衝液で希釈します。水で希釈しないでください。

保管・発送情報

保存方法	4°Cで保管してください（常温で発送されます）